

令和4年10月28日(金)

〒386-0011 上田市中心北3-3-6 Tel.22-1622
作成:小池心吾・小林洋一

学校教育目標 「自主性を養う」

～自らより高い価値を創造しようとする力をつける～

校長講話「生き方に学ぶ」～人権同和教育旬間始まる～

10月21日(木)から人権同和教育旬間が始まりました。初めに、校長先生から、「生き方に学ぶ」と題し、山極勝三郎博士のお話がありました。

山極博士は、少年時代に「世界の役に立つ人間になりたい」という夢をもち、猛勉強して東京大学に入学し、首席で卒業しました。その後、ドイツ留学をしてガンの研究に心血を注ぎました。病で倒れても、誹謗中傷を浴びながらも研究を続け、世界で初めて人工ガン実験に成功した人です。当時、その偉業は、上田でもあまり知られていなかったそうです。そこで、昭和43年当時の三中生が、その偉業を広めようと立ち上がり、家族や研究者たちにインタビューをしたり、資料集や本を出版したりしました。その学びを聞きつけたテレビ局が取材に来て、番組にもなりました。

最後にサトウハチローさんの「三中生のために」の紹介もありました。「・・・山極勝三郎博士 貧乏にも負けず 病にも負けず いつも青空を心に浮かべ おのれをきびしくきたえた人 ひとすじに自分の道をつらぬいた人・・・」。山極博士の生き方に学びたいと思います。

また、自分や友と向き合い、誰もが安心して生活できているかどうか見つけ直す機会にもしてほしいと思います。身の回りで悲しい思いをしている人はいないだろうか・・・、相手の立場に立って考え、違いを認め合うことができているだろうか・・・などと、自他ともに振り返ってみてください。誰もが安心して自分らしく生活することができる三中でありたいと思います。

山極勝三郎(やまぎわ かつさぶろう)博士

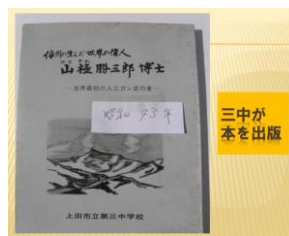


○1863年、上田市
鎌原に生まれる。
(三区)

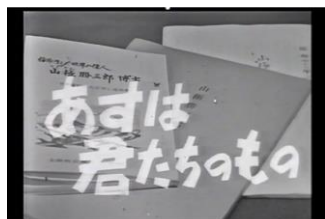
○幕末から明治維新
武士の家に生まれた
が生活が苦しかった

○東京の山極家へ養子へ(16歳)

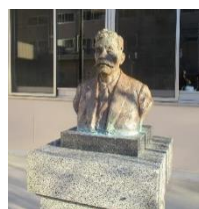
三中生がテレビに出演(54年、54年前)



54年前の校舎



テレビ番組の映像



どんな時代に生まれてきても
だれもが見上げる空、山極先生もきっと見上げていたはず。
私も自分のやりたいことを見つけてそれをあきらめずに努力し続けたい。(3年生女子)

映像で見た三中の校舎が今と違いが無くてびっくりしました。「人の役に立つ」という道を15歳で決めて、まわりに流されることなくやりきることは、素晴らしいこと。最後まで偉業を未来へつなごうとした先輩方もスゴイ。54年前の三中生のお話を聞いてびっくりしました。休日に自らの足で調べることはすごいことだと思いました。山極博士のことをもっと深く知りたいと思いました。三中のことに何かわからなかったけど、5分の動画を見たことで歴史をちゃんと知ることのできるきっかけとなりました。きちんと解説して下さった校長先生に感謝します。山極先生は上田市の誇りです。私もよくできないことがあるとすぐあきらめてしまうので、そこをもっと「トライ! チャレンジ!」したい。身近にこんな偉大な人がいると、より自分へ「頑張るぞ」と思えます。私も先輩たちのように何かを成し遂げ、何かに挑戦してみたいと思いました。(3年生の感想文)

花ボランティアの皆様 ありがとうございます
18日(火)に花ボランティアの方々が、学校花壇に植えるパンジーなどのポット植えをしてくださいました。ボランティアの方々や緑化委員のおかげで、今年の夏の花壇も色とりどりの美しい花々が咲き、心癒される学校花壇となりました。



今年度の全国学力・学習状況調査の結果と分析

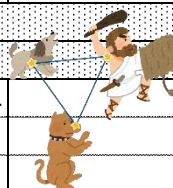
今年度の全国学力・学習状況調査について、結果と分析がまとまりましたのでお知らせします。実施日：4月19日 調査対象：3年生

国語	<ul style="list-style-type: none"> 「考えを分かりやすく伝えるように表現を工夫して話す」など、話すこと・聞くことの領域において力を伸ばしている。 「考えが伝わるように、根拠を明確にして書く」など、書くことの領域において課題がある傾向が見られる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 「多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している」など、データの活用の領域において力を伸ばしている。 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」など関数の領域において課題がある傾向が見られる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 「画像と観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈する」など、地球を柱とする領域において力を伸ばしている。 「考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善する」などエネルギーを柱とする領域において課題がある傾向が見られる。

調査結果と分析を踏まえ、以下の点についてこれからの指導に生かしていきます。

- 国語に関わって 資料や図表、言葉を引用する言語活動の中で、出典名を明示することを確認したり、目的や効果を考え、自分の考えを支える根拠として引用部分が適切かどうかを考えた場面を設けたい。
- 数学に関わって 問題解決の方法に焦点を当て、表、式、グラフなどをどのように用いたかを明確にして、問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させていきたい。
- 理科に関わって 観察、実験の結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として表現する場面を設け、より妥当な考えをつくりだす学習活動を充実させていきたい。
- 各教科において ・本年度目指している「生徒が『主体的・対話的』に学ぼうとする授業づくり」に引き続き取り組みながら、生徒同士が話し合う活動の充実を図っていきたい。
- ・各単元において、図表やグラフ、調査結果などを分析し、考えや考察を記述する学習活動をさらに展開していきたい。

11月の予定

日	曜	朝	I	II	III	IV	V	VI	校内の会合・行事など
1	火	読書	B1	B2	B3	B4	B5	生	
2	水	大星	A4	C1	C5	C2	講		学校開放③・PTA講演会
3	木	文化の日							
4	金	読書	E1	E2	E3	E4	E5	E6	
5	土	新人バスケ・女バレ・サッカー・卓球							
6	日	新人女バス・卓球							
7	月	JIGA	A1	A2	A3	A4	A5	学	振替日⑦ 教育相談①
8	火	読書	B1	B2	B3	B4	B5	学	教育相談②
9	水	大星	C1	C2	C3	C4	C5		
10	木	読書	D2	D3	D4	D5	人	D1	ブロック人権同和教育研修会
11	金	読書	E2	E3	E4	E5	E6	学	教育相談③
12	土	新人柔道							
13	日								
14	月	JIGA	A1	A2	A5	A6	C5	学	教育相談④
15	火	読書	E1	E2	E3	E4	E5		高層部① 3年級部テスト② 1・2年級テスト③
16	水	大星	E6	D5	C3	C4	講		期末テスト② 元氣アップ講演会
17	木	読書	D1	D2	D3	D4	D5	学	1学年校外学習
18	金	読書	B1	B2	B3	B4	B5	生	
19	土	新人バレー 信州教育の日							
20	日	新人バレー							
21	月	JIGA	A1	A2	A3	A4	A6		小中連絡会②
22	火	読書	C1	C2	C3	C4	C5		校外指導部下校指導⑤
23	水	勤労感謝の日							
24	木	読書	D1	D2	D3	D4	D5	生	特別活動推進委員会協議会 特別活動中小連携(1-2)
25	金	読書	E1	E2	E3	E4	E5	E6	
26	土	上田西体験入学							
27	日								
28	月	JIGA	2A	3A	4A	5A	6A	生	
29	火	読書	1B	2B	3B	4B	5B		
30	水	大星	1C	2C	3C	4C	5C		



学校行事等のお知らせ

【学校開放③・PTA講演会】

- 期日11月2日(水)
- 授業参観 13:10～14:00
- PTA講演会 14:20～15:30
- 学年学級PTA 15:40～16:40



PTA講演会の講師は、中澤佳子アナウンサー(信越放送SBC 三中出身)です。ぜひご参加ください。入校時の手指消毒やマスク着用等、感染防止対策へのご協力をお願いします。

【保護者懇談会(3者面談)について】

12月5日(月)～9日(金)までの5日間

先日「保護者懇談会のお知らせ」を家庭通知しましたので、日程等をご確認いただき、「懇談連絡票」の提出をお願いします。11月2日(水)まで。懇談期間中は下校時刻が早まりますので、生徒の皆さんは家庭等での時間を有効活用できるようにしましょう。



学校自己評価中間報告について

第1回学校評価アンケートの結果と考察を学校ホームページに掲載しました。ご覧ください。回答された内容について受け止め、今後の学校運営に活用させていただきます。今後ともお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



ただいま校地内はじめ周辺の木々は黄色味を帯び、黄葉や紅葉への変身を進めています。今年もまた、木々の冬支度がはまりました。やがて訪れる冷たい乾燥した風雪から身を守るため木々は葉を落としていきます。そうして見えない部分、根を育て伸ばしていきます。私達も植物同様、自分の土台や支えとなる部分をさらに伸ばしていきたいものです。今後も体調管理やコロナ感染防止に向けた取り組みに加え、冬を乗り越える備えをしていきましょう。